

第133回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年5月26日（木）16:00～16:12
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(2) 無料検査の期間の延長について

(保健福祉部長)

4ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

5月25日現在の療養者の状況です。

入院者が180人、うち重症者が0人となっております。

療養者数は、合計で3,568人となっております。

次に、6ページ、新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は126.50人で、5月14日以降、減少傾向にあります。

次に、8ページ、病床使用率の状況です。

病床使用率は24.2%で、今週に入ってから30%を下回っております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数です。

194.64人で、減少傾向にあり、3月30日以来、200人を下回りました。

次に、13ページです。

特に感染が拡大している4市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。相馬市、会津若松市、伊達市、須賀川市の4市につきましては、今週200人を上回る日がありましたが、4市とも減少傾向にあり、200人を下回っております。

なお、全13市において、200人を下回るのは、3月2日以来、約2か月半ぶりとなります。

次に、14ページです。

今ほどの4市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。概ね減少傾向にあるものの、白河市、田村市、本宮市を除く各市において、100人を上回っております。

次に、15ページです。

モニタリング指標です。

「入院率」(5.0%)、「人口10万人当たりの療養者数」(194.64人)、
「PCR陽性率」(14.5%)、
「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(126.50人)が、レベル3、
「病床の使用率」(24.2%)、「感染経路不明者の割合」(56.7%)が、レベル2、
「重症者用の病床使用率」(0.0%)が、レベル1となっています。

次に、17ページ、資料3をお願いします。

【資料3】

無料検査の期間の延長についてです。

1月3日から開始している無料検査について、「3」の期間のとおり、6月30日まで延長いたします。

検査実施場所、こちらは県内186箇所に整備しており、詳細は県ホームページに掲載しております。

説明は、以上です。

(3) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

18ページ、資料4をご覧ください。

【資料4】

1 接種実績につきましては、5月24日時点で、3回目接種の回数が、
1,185,841回、全人口に対する接種率は63.7%となっております。

資料中段の囲みの部分、想定される5月末累計の対象者、約138万人に対する接種率は85.9%となっております。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が31.5%、2回目が23.7%となっております。

資料下段「参考」につきましては、首相官邸ホームページの「3回目接種の年齢階級別接種率の実績」の抜粋になります。80歳代を除いて、本県は全国を上回っております。

次のページをご覧ください。

「令和4年6月の大規模接種の実施予定」になります。

福島市、郡山市、いわき市において、5月に続き、6月も大規模接種を実施します。今回は、仕事帰りに接種を受けることができるよう、会場を各市の中心部とし、また曜日・時間を金曜日の夜間に設定しております。

詳細につきましては、記載のとおりとなっております。

この機会に是非大規模接種をご利用いただきたいと考えております。

次のページをご覧ください。

「武田社／ノババックスワクチンの接種体制」についてです。

対象者は18歳以上となりますが、ファイザー社ワクチン、モデルナ社ワクチンにアレルギーのある方を優先いたします。

会場や実施時期など詳細については記載のとおりとなっております。

最後に資料はございませんがお願いであります。

学校や児童施設などでの感染拡大が続いております。

5歳以上11歳以下のお子さんについては、ワクチン接種について御家庭で話し合うなど、接種を御検討いただくとともに、12歳以上の方については、順番を迎えられた際には、3回目接種を早期に行っていただきたいと考えております。

また、3回目接種を終えられた60歳以上の方につきましては、重症化予防の観点から、お住まいの市町村の案内に従って4回目接種を行っていただきたいと考えております。

説明は以上です。

(4) 子どもの感染拡大防止対策について

(井出副知事)

【現状認識】

今週、全国の1日当たりの新規陽性者数は、概ね3万人台で推移するなど、前の週より減少傾向にあるものの、オミクロン株B.A.2系統への置き換わりが進んだことなどにより、高止まりの状況にあります。

そうした中、福島県における新規陽性者数は、5月14日以降、12日連続で前の週の同じ曜日を下回っております。しかし、学校や児童施設、部活動の大会等で多くのクラスターが発生し、子どもの感染割合が高い状態が続くなど、予断を許さない状況にあります。

【子どもの感染拡大防止重点対策について】

4月以降の年代別の新規陽性者数は、10代以下の割合が最も大きく、また、大型連休後に発生したクラスターを見ても、7割近くが子ども関連で推移しております。

このため、今月31日を期限としていた「子どもの感染拡大防止重点対策」の実施期間を6月12日まで延長し、引き続き、お子さんの感染防止対策に力を入れてまいります。

特に、これからの時期は部活動の大会等が多くなります。大会やコンクール等では多くの人が集まることから、より一層の感染への注意が必要です。

そこで、大会・コンクール等への参加や開催に当たってのお願いです。

まず、大会等に参加される際は、検温を行い、喉の痛み等の症状が少しでもあれば、無理をせずに休みましょう。また、会話時のマスク着用の徹底と正しいマスク着用をお願いいたします。さらに、活動中は身体的距離を確保しましょう。

次に、大会等を運営される皆様におかれては、換気や衛生管理を徹底し、待機場所が密にならないよう注意してください。

さらに、大会等に関わるすべての皆様へのお願いです。更衣室等は一斉利用を避け、短時間で利用するほか、手洗いや用具等の消毒をこまめに行ってください。応援は声を出さず、拍手で行いましょう。また、昼食時は身体的距離を確保し、黙食をお願いいたします。

子どもたちが安心して大会やコンクールに参加し、これまでの練習の成果が十分に発揮できるよう、感染対策への御協力をお願いいたします。

最後に、先日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部から、マスク着用の考え方が、改めて示されたところでもあります。基本的な感染対策としてのマスク着用の位置付けは、これまでと何ら変更ありません。

こちらの表をご覧ください。この表の上段が身体的距離が確保されている場面、下段が身体的距離の確保が困難な場面です。それぞれの場面で、屋内か屋外か、また、会話の有無で、マスクの着用をどうするのかを示しています。

資料の右上、「屋外」で「身体的距離が確保されている」場合は、会話の有無を問わず、マスク着用の必要はありません。

一方、資料の左下、「屋内」で「身体的距離が確保できない」場合は、会話の有無を問わず、マスクの着用が推奨されます。

こうしたマスク着用の取扱いも踏まえ、引き続き、「子どもの感染拡大防止重点対策」と「基本対策」に取り組んでいただくようお願いいたします。

(文化スポーツ局長)

県内のスポーツ大会などにおいて、複数のクラスターが発生していることを踏まえ、昨日、県スポーツ協会や県芸術文化団体連合会などを通じて、県内の各競技団体や芸術文化団体などに対し、感染防止対策の徹底について改めて依頼しました。

具体的には、基本的な感染対策に加え、大会、コンクール等の運営においては、時間や場所を分散しての開催やゾーニングなど施設の利用方法を工夫するようお願いしております。

また、食事の際の黙食や子どもの活動参加に際しての保護者と連携した体調確認の徹底、用具等のこまめな消毒など、これまでの感染事例等を踏まえ、特に留意すべきポイントを伝えて、対策を講じるよう依頼しております。

引き続き、関係団体等と連携を図りながら、スポーツ文化活動における感染拡大の防止に努めてまいります。

(5) その他

(金光教授)

先ほど来、御説明あったように、県全体での新規感染者数が減少傾向にあるということで、私もそういう話を聞くと安心しますが、実はこの安心が禁物であって、先ほどのグラフに出ていましたが、減って増えての繰り返しを少なくとも4回ぐらいやっています。

完全に減り切っていないということで、この感染がだらだらと続いているということでもあります。そのことは決して忘れてはいけないと思います。

また、先ほど来、国からマスク着用の考え方が示されましたが、これはもちろん有用だろうとは考えていますが、生活の中では動きもありますので、3m離れていると思ったら近づいていくこともあるし、話し出すこともあるので、判断が難しい局面もあると思いますが、ぜひ県民の皆様には、判断が難しいときにはマスクを着けていただいた方がよろしいと思いますし、また、(マスク着用のルールが)複雑化するといろいろな考えの人が出てくるので、今後はマスクを着けている人、着けていない人を見ても、他人のことは批判をしないようにしていただきたいと思っています。

(井出副知事)

【会議総括】

感染拡大を防ぐためにも、お一人お一人が警戒を緩めることなく、引き続き、「子どもの感染拡大防止重点対策」や「基本対策」にしっかり取り組んでいただくようお願いいたします。

す。

県といたしましても、感染症対策と社会活動・経済活動の両立を図るため、全力で取り組んでまいります。

各部局においては、引き続き、県民の皆様の命と健康を守るため、迅速かつ的確に対応を進めてください。